



捨印

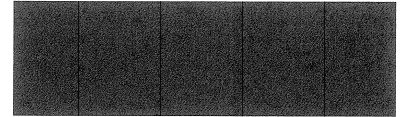
岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

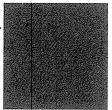
平成 28年 6月 15日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ コウヤジリムララツクルカイ
団体名 高野尻村をつくる会
所在地



連絡先
フリガナ ソンチョウ ウカイ エイコ
代表者氏名 村 長 鶴 飼 栄 子



※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 <input type="radio"/> イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="radio"/> オ その他
事業名称	高野尻村をつくろうプロジェクト
事業実施区域(小学校区)	高野尻町内 牧石学区 (岡山市立牧石小学校)
事業実施回数	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 継続 回目 (年度から)
課題	<p>※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。</p> <p>過疎化・高齢化・健康不安が進む中山間地域の高野尻の生活は、誰とも会わない、誰とも話をしない日があります。毎日の暮らしの中に、人とのふれあいが欲しい、子どもの声が聞こえると気持ちが明るくなるとの声が聞こえる中、現状は、子どもの声も、人の声も聞こえません。毎月の町内清掃活動など、何とか続けていますが、人がいないと、基本的な町内機能の維持も、やがて出来なくなるのが、地域の実情です。</p> <p>人の声がする地域をつくることは、町民を元気にすることと考えます。</p> <p>そこで、地域の課題解決に向けて、高野尻町内に村をつくります。</p> <p>四季折々の自然環境を活かした体験や外遊びの空間づくり、野菜づくりや花づくりの、知恵や経験の伝承を通じて、都市部地域に暮らす方々が訪れたいくなる、居場所となる、高野尻村(こうやじりむら)づくりを始めます。</p>

<p>事業の目的・目標</p>	<p>※本事業を実施する目的、実施後の目標について記載してください。</p> <p>最盛期は、20世帯を超えていた高野尻町内も、現在6世帯8人が暮らす小さな町会です。平均年齢も80代半ばとなり、高齢化とともに、空き家が増え、公共交通もなく、限界集落化が進んでいます。かつて、学区の岡山市立牧石小学校、岡山市立岡北中学校に通学する児童のにぎやかな声が聞こえたのは、40年以上前のことです。離れて暮らす子世代の助けを受けながら、町内清掃などに励み、何とか町内機能を維持してきました。そんな中、町内に新たな可能性が芽生えています。平成27年度に空き家を利活用して誕生した、高野尻テラスの取り組みにより、高野尻を訪れる人が少しですが、増えています。住民との出会いやふれあい、自然環境が気に入り、何度も訪れる方がいます。人とのふれあいが町民を元気にします。また、町内機能の維持には、人が必要です。事業の初年度の目標は、中山間地域の高野尻の魅力や、存在価値を都市部地域で暮らす人に知ってもらうことです。次に、高野尻村に年間を通じて、訪れたいくなる仕組みや機会、環境をつくることです。そのために、広報のための印刷物、Webサイトの制作は、カメラマンとデザイナーに、何度も現地に足を運んでもらい、相談を重ねながら進める予定です。</p>
<p>事業の内容</p>	<p>※具体的に実施する活動を記載してください。箇条書きでよいです。</p> <p>【広報事業】：高野尻村の魅力をもとめた冊子やWebサイトなど、広報宣伝物をつくる</p> <p>【おもてなしガイド事業】：高野尻村を案内する標識、看板などをつくる</p> <p>【遊び場整備事業】：休耕田を活用した子どもの遊び場づくりをすすめる</p> <p>【村まつり事業】：高野尻村の村民と町内会の交流、にぎわいづくりを目的に企画する</p> <p>【体験事業】：畑での野菜や花づくり、季節のお飾りづくりなど体験を伝承する</p>
<p>期待される成果</p>	<p>※事業実施することで、変化すること、期待している成果を事業内容を踏まえて記入してください。</p> <p>【健康・生きがい】村を訪れる人の交流や語らいの機会が、暮らしの楽しみにつながり、町民の孤立を防ぎます。また、痴ほう症予防、足腰の運動につながり、健康寿命を延ばす成果が期待できます。</p> <p>【人の流れ・地域活性化】限界集落化が進む、中山間地域に、人が来ることで、地域が活性化し、小さな経済が流通することで、持続的な町の機能維持が期待できます。</p> <p>【新しい地域づくり】中山間地域の抱える現状と課題、都市部地域の現状と需要を組み合わせることで、新たな地域のあり方、暮らしのあり方を提案します。</p>
<p>企画などの工夫</p>	<p>※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしばったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。</p> <p>【市場調査】都市部に暮らす人の需要や価値観に、どの様につながっていけるか工夫が必要です。その為に、都市部に暮らす方々の求めている声を集めて、事業を進める参考にします。</p> <p>【価値創造】高野尻テラスの協力を得ることで、中山間地域の自然や暮らしの存在価値を見つめ直し、都市部地域に暮らす方々が訪れたいくなる仕掛け、仕組みをつくりまします。</p> <p>【参画】村づくりに関心のある方を村民として募り、参画型の地域づくりを目指します。同時に、未来の岡山を担う、子どもたちの参画する機会をつくりまします。</p> <p>【協同・連携】近隣町内会、村民、岡山で活躍する個人や団体との協同、連携により、新しい地域づくりに取り組みまします。</p>

<p>事業の 情報公開</p>	<p>※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。 【地元新聞社、ラジオ、テレビなどの取材依頼】</p> <p>【Web サイト、Facebook 等ネットワークサービスでの情報発信】</p> <p>【高野尻村内での事業掲示】</p> <p>【ロコミ】</p>
<p>次年度以降の 予定</p>	<p>※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。</p> <p>①次年度以後の活動計画</p> <p>【組織づくり】高野尻村の村民募集ならびに村民同士のネットワークづくり</p> <p>【開発】高野尻村のオリジナル体験・商品の開発をおこなう</p> <p>【学びの場】実践をふまえた地域（村）づくりセミナーを開講する</p> <p>②資金の確保について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>次年度も区づくり推進事業を申請する予定</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>（ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。</p> <p>○資金確保の具体的な方策： 事業実績を踏まえ、なるべく速やかに企業の社会貢献による寄付などを検討する。c</p>
<p>その他PR したい点</p>	<p>※小学校区より小規模（単位町内会等）で申請されるばあいは、今後どのように学区等への広がりははかっていくかなどもお書きください。</p> <p>何でもすぐに手に入る便利な時代になりました。自然とともに暮らすことは、手間がかかります。この便利な時代に、高野尻での暮らしや体験にふれる機会は、新鮮に映る様です。また、我々、高野尻に暮らす町民も、事業を通じて、日常の暮らしの中から、新鮮な高野尻を感じたいと思います。</p> <p>高野尻町は、小さな町内会です。そもそも高野尻村づくりは、町内会内の規模では、考えていません。監査役をお願いした方は、畑鮎町内会で事業をしていますので、事業実施メンバーがすでに、高野尻町内会関係者にとどまりません。</p> <p>今後の事業を学区等へ広げるために、3つの実行策を考えています。</p> <p>一つ目は、2カ月に1度、町内会長が出席する牧石連合町内会の集まりを通じて、近隣町内会へ参加案内をします。地元の牧石小学校のお子さんが、参加できる企画をつくります。</p> <p>二つ目は、高野尻テラスを企画運営する方の、これまでのネットワークが高野尻村づくりに新たな発想をうみます。岡山の様々な分野で活躍する個人、団体が高野尻での取組みに関心を持ち、高野尻を訪問してくれています。そこから、新たな連携を模索します。一例として、28年夏には、岡山に福島県の小学生10名を招待するチャリティー企画に、高野尻や近隣の方と協力します。</p> <p>三つ目は、高野尻村の村民は、岡山市内の様々な町に暮らしている方です。小単位の個人や家族が、高野尻町内と暮らす町をつなげてくれる存在になります。村民同士のつながりがネットワークとなり、新たな価値をうみ、岡山市の街なかで、新しい物事をつくるでしょう。</p>

収支予算書

◆収入

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
岡山市補助金		920,000	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金		100,000	高野瓦町内会 100,000
参加者負担金		50,000	100×500人
協賛金			
寄付、他収入		80,000	寄付 80,000
計		1,150,000	

◆支出

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
製本印刷費		320,000	チラシ単価@19×5000部 リーフレット単価 150×1500部 企画 デザイン 写真 編集 印刷費含
原材料費		225,000	遊び場づくり 材木@400×30本@1,200 ×10本@3,000×12本 板 1,500×10枚 遊具づくり ロープ@300×100m 案内標識 看板づくり 板@2,500×10枚 塗料@3,500×10缶 イノシシ対策金網フェンス@350×100m 杭@1,000×15本 畑づくり 肥料@1,000×10袋
消耗品費		240,000	事務用品 10,000 各種用紙 5,000 印刷イ ンク 5,000 草刈り機替刃@1,000×15枚 のこぎり替刃@500×20枚 各種釘 5,000 日除け、雨よけシート@5,000×3枚 防災、作業ヘルメット@2,800×10 電球 @700×10 パケツ容器@1,500× 4 救急箱 1式 14,000 のぼり旗@2,000 ×20セット のれん@20,000×2 スタッフベスト@2,000×20着
委託料		220,000	Web サイトプログラム費 1式×220,000 デザイナー カメラマン プログラマー含
使用料		60,000	車両借り上げ 52,500 駐車場料 7,500
食糧費		15,000	会議スタッフ飲料@100×10人×5回 事業スタッフ飲料@100×20人×5回

燃料費		20,000	灯油 10,000 ガソリン 10,000
保険料		50,000	岡山市市民活動保険外 行事主催者保険 50,000
計		1,150,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	<input checked="" type="radio"/> 希望する	<input type="radio"/> 希望しない
-----------	---------------------------------------	-----------------------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

製本印刷費や委託料の支払いなどが、自主資金をこえる金額の為。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	
5月	
6月	企画会議
7月	企画会議 事業準備会 調査事業
8月	企画会議 事業準備会 おもてなしガイド事業
9月	おもてなしガイド事業 広報事業 体験事業
10月	事業準備会 体験事業
11月	企画会議 事業準備会 体験事業
12月	事業準備会 遊び場整備事業 村まつり事業
1月	企画会議 遊び場整備事業 体験事業
2月	事業準備会 体験事業
3月	事業準備会 遊び場整備事業 反省会 監査報告会 次年度企画会議